



マレーシア歴史探報（博士とぺにゃんの旅シリーズ・意外な歴史編）

ぺにゃん：今回は、僕が知ったマレーシアの意外な歴史について皆に知ってもらうにや。

博士：よし、それではわしからじゃ。ぺにゃんよ、「種の起源」という本は知っているかな。

正式な書名は”On the Origin of Species by Means of Natural Selection, or the Preservation of Favoured Races in the Struggle for life”というのじゃ。イギリスの博物学者「チャールズ・ダーウィン」が執筆した本じゃよ。今年で発行160周年記念にあたるのじゃ。ダーウィンの進化論は当時の社会思想にまで影響を与えたのじゃ。何故って？それは、キリスト教が社会全体に絶対的な影響を持って、生物は神が創造したと信じられている時代に、突然、「自然淘汰」によって進化が多様な種を生んだと言われた時には、すごい衝撃が走るよな。

ぺにゃん：確かに衝撃にや…。ぺにゃんは一体何から進化したのにや？？

博士：…。…。ぺにゃんよ、この独創的な発想は実はダーウィンだけのものではなかったということを知っているか、実は、ダーウィンが最後までとどろけなかった理論をアルフレッド・ラッセル・ウォレスがボルネオ島で探検をしているときに発見したのじゃ。彼が変種から変種が生じ、その変種からまた新しい変種が出るという具合に連鎖が「新種」につながるのではないかと思いついたのじゃ。これが本当の「種の起源」の中心をなす「分岐の理論」というものなのじゃ。彼は急いでこれを論文にまとめ、尊敬するダーウィンにサラワク州から送ったのが1855年なのじゃ。これが所謂サラワク法則とも言われているのじゃ。

ぺにゃん：サラワク法則！ウォレスさんってインドネシアの動物の分布を二つの異なった地域に分けたウォレス線を特定した人で、かつ、生物地理学の父と言われて有名にや！マレーシアって、進化論の話に関わる位の面白い地域だったとは～～～。びっくりにや。博士、次はぺにゃんが見つけた、おそらく日本とマレーシアに関わるまだ誰も知らない歴史について説明するにや。本邦初公開！博士、ザ・バンジャランホテルって知っているかにや？

博士：サンウェイホテルグループの高級ホテルじゃな。イポーにある五つ星ホテルで温泉や洞窟が売り物のところじゃな。大人の高級リゾートってとこじゃな。わしもついこの前、行ったのじゃが高級感あふれるホテルじゃったなあ。そこが何故意外な歴史なんじゃ？

ぺにゃん：博士～、誰と行ったにや？？奥さん？？それはさておき、このホテルの洞窟内で100年以上前の日本人の痕跡が残っているにや。当時、日本人がこの温泉地帯を訪れて、湯治で活用していたと思われるにや。日本人はどこに行っても温泉が好きなんだにや～。



写真左端及び左から2番目：バンジャランホテル内の洞窟に大書されている（サイズ・約3 m以上）

大正2年9月にこの地で日蓮宗が開山（寺院を開いたの意）した記録と考えられる。

中央～右端まで写真：洞窟のバーカウンター内にて（全て大正時代の年号が記載されている）

博士：むむ、ぺにゃんよ、よく調べてきた！マレーシアの至る所に日本人の痕跡が残っているのはすごい。次は、負けずにわしからじゃ！ペナンに訪れた方々を紹介しよう。明治44(1911)年に東伏見宮親王夫妻が、日露戦争で有名な乃木希典、東郷平八郎と一緒にペナンを訪れているのじゃ。東伏見宮親王は英国に留学していた経験があり、英国ジョージ五世の戴冠式に出席した帰りに立ち寄ったのじゃ。乃木、東郷両伯爵は、その際に極楽寺を訪れているという記録が残っておる。歴史を感じるのう。。

ぺにゃん：博士！大正天皇第三王子の高松宮宣仁親王夫妻も昭和5(1930)年5月8日にペナンヒルを訪れたという記録があったにゃ！すごいにゃ！！

ぺにゃんのことも100年後に記録として誰か残してくれにゃいかなあ。。



写真左端：1911年4月30日東伏見宮親王夫妻（中央）と随員の東郷、乃木両伯爵（大将）  
 写真中央：1911年5月4日東郷、乃木両伯爵による極楽寺に立ち寄った際に記念で残したと思われる。  
 写真右端：1930年5月8日高松宮宣仁親王夫妻が、ペナンヒルにて輿（こし）に乗られる様子。  
 ペにゃん：進化するにゃ〜〜！！

博士：ぺにゃんよ…、ちゃんと記録に残るように頑張るのじゃぞ。時にぺにゃんよ、これから平成から令和に変わるこの歴史の瞬間に、ペナンで立ち会えることがなんともうれしいのう。ところでぺにゃんよ、今上天皇（平成31年4月23日現在）が皇太子殿下の時に立ち寄ったペナンの場所を紹介しよう！！エスプラネードにあるのじゃが、知っていたかの？

ぺにゃん：博士〜、今回は『マレ研』の名前に相応しい、本当の研究みたいだったにゃ〜！！



写真左端：1970（昭和45）年2月21日、今上天皇が皇太子時代にペナンをご訪問になられた際、エスプラネード広場の一角に植樹されたBunga Tanjong (学名Mimusops Elengi)  
 写真中央：前記植樹の記念プレート

※ 引用文献『南洋の五十年 シンガポールを中心に同胞活躍（南洋及日本人社 編）』『戦前シンガポールの日本人社会 写真と記録（シンガポール日本人会発行）』『渡部昇一 青春の読書（WAC出版）』  
 目下、マレーシアの歴史を飼って勝手に研究している（略してマレ研）マスコットキャラクター。活動範囲はペナン、ペラ、ケダ、ペルリス、トレンガヌ、クランタンが限界。



マレ研顧問でちょっと物知り。